

産官学と市民が集い、ICTを使った地域の課題解決を考える Code for Kumamoto を初開催

ー九州のシビックテックの“いま”がわかる！7月13日(土)にキックオフイベント開催ー

熊本学園大学経済学部の境章(さかい あきら)教授の呼びかけで、ICT(情報通信技術)を使った地域課題の解決をめざす「Code for Kumamoto」のキックオフイベントを7月13日(土)に開催します。これは、プログラミングやインターネットに関する知識の有無にかかわらず、企業・行政・大学や市民と一緒にICTを活用した地域の課題解決やまちづくりなどの施策を考えていくもので、「シビックテック(Civic Tech)※」と呼ばれる活動です。米国で始まった「Code for (地名)」の活動は、近年、日本各地でも同様の動きが活発化しており、熊本では今回のキックオフイベントが初開催となります。九州各地の事例報告や参加者と学生を交えた意見交換を実施予定です。

情報科学を専門とする境教授の研究室では、オープンデータを活用した地域創生をテーマに活動しており、以前より熊本県内の4つの自治体(菊池市・山都町・美里町・宇城市)の課題解決を考える「ひのひとソン」(2017年5月～)や、熊本の鳥獣害対策を県や農家ハンター、地域住民と考える「ひのヒットデータソン」(2017年10月～)を開催するなど、学生と地域住民による課題解決のためのワークショップを実施してきました。これらの活動は、一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会が実施する「アーバンデータチャレンジ(UDC)」の地域拠点に選定されており、学生が提案した「ジビエの6次産業化」などの一部内容は実現に向けて動いています。今回のCode for KumamotoもUDCの一環です。よろしければ取材いただきますよう、ご案内申し上げます。

※シビックテック…シビック(Civic:市民)とテック(Tech:テクノロジー)をかけた造語。地域住民がICTを中心としたテクノロジーを活用し、行政サービスや社会の課題を解決する取り組みのこと

<Code for Kumamoto 開催について >

- 開催日 2019年7月13日(土) 開場 13:00 オープニング 13:30～ (16:30頃終了予定)
- 場 所 熊本学園大学 14号館5階 第5会議室(熊本市中央区大江2-5-1)
- プログラム(内容)
 - 13:30- 開会
 - 13:35- オープンデータとシビックテック、Code for SAGA 取り組み事例報告
 - 14:05- Code for Nagasaki、Kurume、Fukuoka 取り組み事例報告
 - 15:00- 宮崎県のオープンデータ立ち上げについて
 - 15:15- 熊本県のオープンデータの取り組み(熊本県情報政策課)
 - 15:30- Code for Kumamotoでの取り組み予定
 - 16:00- 参加者意見交換 (16:30閉会・記念撮影等)
- 主 催 熊本学園大学 境研究室、NEC ソリューションイノベータ、熊本県立大学 佐藤研究室
- 後 援 アーバンデータチャレンジ(UDC)

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室 TEL:096-364-8722(直通)

Mail:koho-kgu@kumagaku.ac.jp